



高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化 単位数：2単位

教科： 科目： 言語文化  
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 4 組  
 教科担当者：（1組： 青柳 ） （2組： 青柳 ） （3組： 青柳 ） （4組： 青柳 ）  
 使用教科書：（言語文化（筑摩書房））

教科 国語 の目標：  
 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。  
 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合合力を高め、思考力や創造力を伸ばす。  
 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を広げたり深めたりすることができるようにする。	古典作品、文学的作品において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	記 時 数
			語	書	読					
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解すること。 ・文章の意味は、文脈の中で形成される事を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文、漢文を正確に読む 古文法（歴史の仮名遣い・用言） 漢文訓読の基本（訓点・変読文字） 小説（心情をつかむ） ・教材 絵仏師良秀（宇治拾遺物語） 芥川（伊勢物語） 推蔵（唐詩紀事） 漁夫之利（戦国策） 物語の声を求めて（津島佑子） ・一人1台端末の利用 等	○	○	○	A 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などを理解することができた。 ・文章の意味は、文脈の中で形成される事を理解できた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解する。 ・文章の構成や展開の仕方、表現の特色について評価する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文書に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文の逐語訳と解釈 古典文法（用言・助動詞・係り結び） 漢文の訓読と書き下し文、解釈 隨筆（筆者の心情をつかむ） ・教材 東下り（伊勢物語） 筒井筒（伊勢物語） 雑談（轉念 唐宋八家文読本） 羅生門（芥川龍之介） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	B 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的、文化的背景などを理解することができた。 ・文章の構成や展開の仕方、表現の特色について評価することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文書に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	12
定期考査						○	○		1	
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品の文章の歴史的、文化的背景などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文書の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文の逐語訳と解釈 古典文法（助動詞・助詞） 漢文の正確な訓読と解釈 漢文の句法（使役形・疑問形・反語形等） 隨筆（筆者の考えを読み取る） ・教材 門出（土佐日記） 「むき根をしのぶ」（土佐日記） 帰京（土佐日記） 管鮑之交（十八史略） 夢十夜（夏目漱石） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	C 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、作品の文章の歴史的、文化的背景などを理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文書の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を理解を深めることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	12
	定期考査					○	○		1	
	D 単元 【知識及び技能】 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 古文の逐語訳と解釈 漢文の正確な訓読と解釈 漢文の句法（受身形・仮定形・抑揚形等） 隨筆（筆者の考えを読み取る） ・教材 「なぜ日本語で書くのか」（リービ英雄） 木曾の最期（平家物語） 刺客桐刺（十八史略） ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	D 単元 【知識及び技能】 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解することができた。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めることができた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	14
定期考査									1	
3 学 期	E 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深める。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる。	・指導事項 逐語訳と解釈 敬語（種類と敬意の対象） 隨筆（筆者の考えの読み取り） 句法（詠嘆形・願望形） 諸子百家思想の理解 ・教材 かぐや姫の昇天（竹取物語） 朝三暮四（莊子・齊語） 韻文の表現 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	E 単元 【知識及び技能】 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解することができた。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めることができた。 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができた。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作品に興味を持ち、価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に意欲的に関わる事ができた。	○	○	○	17
	定期考査					○	○		1	

年間授業計画

高等学校 令和8年度（2学年用）

教科

国語

科目 論理国語

教科：国語

科目：

論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～

4組

教科担当者：（1組：門間）

（2組：門間）

（3組：門間）

使用教科書：（探求論理国語（桐原書店）

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。多読によりテーマのイメージを創造する。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		読 書	読 書					
<p>1 単元 文章と資料の関係を捉え、日本社会について考えるときにも、統計資料から分析したことを書く</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。【B(1)イ】</li> <li>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【B(1)イ】</li> <li>・「書くこと」において、統計資料を読み取り、自分の書く文章の主張を支えるために必要な情報を抽出している。【A(1)ア】</li> <li>・「書くこと」において、根拠となる情報の妥当性・信頼性に言及しつつ、それに支えられる主張を明確に書いている。【A(1)イ】</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をおとして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>段落毎の要点のとらえ方について理解し、要点をまとめ、要約を口頭で発表する。春休みに『山月記』を讀んで、その『山月記』や、カフカ、東野圭吾の『変身』に関する論文を読み、探究の論文執筆につなげる。</p> <p>【教材】</p> <p>宮原浩二「変身に伴う快楽と恐れ―『山月記』を通じて」、平野啓一「身体と出現」、『変身―冒険物語』、村田沙耶香「気持ちよさという罪」、黒崎政男「(私)はどこへ行く?」「ロボットは心を持つか」、三宅一郎「キャラクターの身体、自動車『身』」、松村一郎「器としての『わたし』」</p> <p>・漢字、知識の小テスト</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「一方」「もちろん」「だから」といった接続する語の働きを理解し、文章の展開をとらえている。</li> <li>・根拠としての統計資料の情報と主張の情報を結びつける理由づけについて、作文の中で明確に示している。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・統計によるグラフやインタビュー調査の事例と、筆者の主張との関係をとらえ、全体の構成を推察している。</li> <li>・統計資料の主旨や内容を、本文全体の内容と照らし合わせながら理解している。</li> <li>・作文において、根拠とした統計資料の位置づけに触れながら、自分の主張を明示している。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・資料と本文の内容を関連づけながら、筆者の主張を意欲的に読み取ろうとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	11	
								<p>定期考査</p>
<p>2 単元 表現の工夫を考える</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。【(1)イ】</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらいまを把握している。【B(1)ア】</li> <li>・「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら内容の解釈を深めている。【B(1)オ】</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・学習課題に沿って、学説の引用に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>文章の構造に注意し、具体と抽象、対比を意欲して読む。「である」論理、「する」論理とはどのようなものかを理解し、身近な問題として取り上げたり説明したりする。シベリア抑留の悲惨さや、平和について考える。</p> <p>【教材】</p> <p>劉部直「政治を支える心構え」、坂井豊貴「多数決を疑う」、丸山真実「『共生への冒険』、石原吉郎「ある（共生）の経験から」</p> <p>・漢字、知識の小テスト</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論理的な文章や、芸術の鑑賞文などで多用される語句の意味を理解し、それらの語を用いて本文の概要を説明している。</li> <li>・語彙を増やし、段落構成をつかみ文章の展開を把握している。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・文章の構成と論理的な構造を理解し、筆者の主張を明確にとらえている。</li> <li>・「余白」の美を強調する筆者の主張を理解し、「日本人の美意識」について掘り下げて読解している。</li> <li>・「資料と本文の内容を関連づけながら、筆者の主張を意欲的に読み取ろうとしている。」</li> <li>・「ミロのグイーナス」と「余白の美学」の文章を比較し、「美」についての考えを深めようとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	11	
								<p>定期考査</p>
<p>3 単元 科学について理解を深め、字分の意見を明確にしてその功罪について書く</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)エ】</li> <li>・本文の具体例と主張の関係、本文記述と表の対応関係について理解している。【(2)イ】</li> <li>・筆者の主張とその根拠をとらえている。【(2)ア】</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。【B(1)ア】</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。【B(1)ウ】</li> <li>・「書くこと」において、筆者の主張と根拠を押さえた要約をしている。【A(1)ア】</li> <li>・「書くこと」において、自身の主張と、それに対する根拠を書き出している。【A(1)イ】</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・積極的に、ワークシートなどの学習課題に取り組み、意見文執筆に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>夏休みから「ここ」を讀んで、山崎正和「淋しい人間―『ここ』を通じて」を読む。近代以前、近代、近代の崩壊とは何かを理解する。大きな物語の崩壊と小さな物語の現代社会について考えながら、ポスト構造主義、ポストモダンの考え方を理解する。</p> <p>【教材】</p> <p>東浩紀「ポストモダンと排除社会」参考</p> <p>「動物化するポストモダン」、園谷裕子「ポストモダン時代のジャーナリズムの役割」、内田樹「ネット上の発言の劣化について」、柴田邦臣「ビッグデータ時代の『生』の技法」、山田昌弘「家族化するペット」</p> <p>・漢字、知識の小テスト</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>端末を使った調べ学習</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小見出しこととまわり同士のつながり、論の展開についてとらえている。</li> <li>・本文の主張と根拠について、該当箇所を指摘した上で、該当箇所を手短かに表現している。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・小見出しこととまわり同士のつながり、論の展開についてとらえている。</li> <li>・本文の主張と根拠について、該当箇所を指摘した上で、該当箇所を手短かに表現している。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・より多くの具体例や自分の根拠を支える事項を積極的に考えながら、意見文を書くこととしている。</li> </ul>	○	○	○	○	13	
								<p>定期考査</p>
<p>4 単元 思考の枠組みをメタ認知する</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)エ】</li> <li>・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。【(1)イ】</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。【B(1)ア】</li> <li>・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらいまを把握している。【B(1)ア】</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・本文と図版を関係つけて読むことをとおして、段落相互の関係に注意しながら、書き手の意図との関係において構成や展開を積極的にとらえ、今後の学習に生かそうとしている。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>論点を共有しながら話し合い、よりよい結論を出すために、考えを広げたり深めたりする。論文を引用しながら、自身の考える「言葉と他者との関わり」について根拠の明確なレポートを作成する。バルト、フーコー、ラカン、ハイデガーなどの思想をまとめる。</p> <p>【教材】</p> <p>北田晴夫「つながりと秩序」、仲正昌樹「何のための自由か」、今村仁司「市民社会化する家族」、河野哲也「真理の探究と民主主義」、船木亨「トリアージ社会」</p> <p>・漢字、知識の小テスト</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>調べ学習、論文の作成</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体例を説明・主張との関わりなど段落相互の関係について正しく理解し、全体の構成をとらえている。</li> <li>・「～だが」「～より」など、対比を示す語句、接続表現を理解した上で、本文において対比の関係や論理展開をとらえている。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・現代のグローバル化の特徴と、文化や国家との関係について十分に理解している。</li> <li>・文章の構成や展開について、自分の主張が正しく伝わるように書かれているか、吟味して、文章を整えることが十分にできている。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・学習の見直しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめている。さらに今回学んだことを他の単元の学習活動に活かそうとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	13	
								<p>定期考査</p>
<p>5 単元 自分たちの生きる世界を自分なりに理解し、レポートにまとめる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論証したり学術的な学習の基礎を学んだらするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】</li> <li>・文章の種類にもとづく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。【(1)エ】</li> <li>・情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。【(2)イ】</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・「読むこと」において、人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。【B(1)イ】</li> <li>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらいまを把握している。【B(1)ア】</li> <li>・「書くこと」において、実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などのさまざまな観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。【A(1)ア】</li> <li>・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の主張が的確に伝わるように書かれているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。【A(1)イ】</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・学習の見直しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめている。さらに今回学んだことを他の単元の学習活動に活かそうとしている。</li> </ul> <p>定期考査</p>	<p>・指導事項</p> <p>論点を共有しながら話し合い、よりよい結論を出すために、考えを広げたり深めたりする。論文を引用しながら、自身の考える「言葉と他者との関わり」について根拠の明確なレポートを作成する。バルト、フーコー、ラカン、ハイデガーなどの思想をまとめる。</p> <p>【教材】</p> <p>北田晴夫「つながりと秩序」、仲正昌樹「何のための自由か」、今村仁司「市民社会化する家族」、河野哲也「真理の探究と民主主義」、船木亨「トリアージ社会」</p> <p>・漢字、知識の小テスト</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p> <p>調べ学習、論文の作成</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・論点を共有しながら話し合い、よりよい結論を出すために、考えを広げたり深めたりする。論文を引用しながら、自身の考える「言葉と他者との関わり」について根拠の明確なレポートを作成する。バルト、フーコー、ラカン、ハイデガーなどの思想をまとめる。</li> <li>【思考力、判断力、表現力等】</li> <li>・現代のグローバル化の特徴と、文化や国家との関係について十分に理解している。</li> <li>・文章の構成や展開について、自分の主張が正しく伝わるように書かれているか、吟味して、文章を整えることが十分にできている。</li> <li>【学びに向かう力、人間性等】</li> <li>・学習の見直しをもって、全体の構成を意識しつつ、積極的に調べたことをレポートにまとめている。さらに今回学んだことを他の単元の学習活動に活かそうとしている。</li> </ul>	○	○	○	○	17	
								<p>定期考査</p>
					○	○	○	1
					○	○	○	合計
					○	○	○	70

※ 生徒の習得状況に合わせ、進度の変更や教材の追加を行うことがあります。













高等学校 令和8年度（3学年用）教科

国語 科目 発展古典演習

教科： 国語 科目： 発展古典演習 単位数： 2 単位  
 対象学年組：第 3 学年 1 組～3 組  
 教科担当者： 辻井伸江  
 使用教科書： 古典探究古文編・漢文編（数研出版）

の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や創造力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 発展古典演習

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数
		語	文	書					
1 学期	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	・古今和歌集仮名序 ・近代秀歌 ・正徹物語 ・入試教材 問題演習と解法			○				10
	定期考査								1
	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	・近体詩 ・古体詩 ・日本漢文 問題演習と解法			○				12
定期考査									1
2 学期	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	入試教材			○		1		12
	定期考査								1
	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。	入試教材			○		1		14
定期考査									1
3 学期	個別指導				○				
	定期考査								
									合計 52